

# 掲載作品および選考委員募集のお知らせ

2021年5月吉日  
大阪文学学校学生委員会在特部

大阪文学学校では、月刊の文芸機関誌『樹林』のうち年2回（6月号および11月号）を「在校生作品特集号」（在特号）として発行しています。

これは、掲載作品の募集から選考、編集、さらには合評会の開催まで、すべての過程を文校生（原則として在校生、選考委員については休学中の方も可）が手がけるという特色のある号です。

在特号の制作には、在校生の皆様一人一人の協力が必要です。文校での日々を、あるいは文校そのものを面白くしていくため、在校生の皆様、どうぞふるってご参加ください。

## ☆ 在特号 制作スケジュール ☆

### 1. 2021年7月10日(土) 15時 作品募集締切 【15時厳守です】

作品応募の締切です。応募された作品を、各部門の選考委員（小説部門は一次選考委員）に送付します。小説部門の一次選考は、選考委員がそれぞれ自宅で採点表を記入する形で行います。  
※社会情勢上、郵便事情が悪くなる可能性もございます。お早めにお送りください。

### 2. 2021年8月3日(火)正午 提出締切 小説部門一次選考結果確定 【正午厳守です】

小説部門の一次選考採点表の返送締切日で、ここで小説部門の一次選考結果が決定します。在特部であらかじめ定めた基準に従い、一次選考通過作品を二次選考委員に送付します。  
・小説部門で二次選考の対象とする作品は、応募作品数にかかわらず、原則、各グループ上位3作品です。  
※社会情勢上、郵便事情が悪くなる可能性もございます。お早めにお送りください。

### 3. 2021年8月22日(日)13時から 詩部門およびエッセイ部門選考会

詩部門・エッセイ部門の選考会をオンライン会議システム（ZOOM）上にて開催し、ここで掲載作を決定します。

選考は、選考委員の合議により行われます。（何らかの理由で選考委員が出席できない場合、書面で意見を述べることはできますが、最終決定には参加できないものとします。）

全ての選考が終わり、掲載作が決定したら、在特部から作者にその旨をお知らせします。

また、選考委員の中から作品ごとに校正担当者を選び、別途お知らせする日程で作者と突き合わせ校正をします。

### 4. 2021年8月29日(日)13時から 小説部門二次選考会

小説部門の二次選考会をオンライン会議システム（ZOOM）上にて開催し、ここで掲載作を決定します。選考は、選考委員の合議により行われます。（何らかの理由で選考委員が出席できない場合、書面で意見を述べることはできますが、最終決定には参加できないものとします。）

全ての選考が終わり、掲載作が決定したら、在特部から作者にその旨をお知らせします。

また、選考委員の中から作品ごとに校正担当者を選び、別途お知らせする日程で作者と突き合わせ校正をします。

### 5. 2021年11月上旬 在特号完成

完成した在特号は、通学生は各自組会の際に持ち帰りください。

通教生には、事務局から発送されます。

### 6. 2021年11月下旬 在特号合評会

小説部門と詩・エッセイ部門に分かれ、掲載作の作者および選考委員も参加して、学生委員会在特部主催の合評会を開催します。みんなで参加しよう！

# 『樹林』2021年11月号(在校生作品特集号)【選考委員応募規定】

在特号をより充実したものにするのは選考委員です！ 選考委員経験者からは「日頃読む機会のない作品が読めて刺激になった」「雑誌を編集する過程がよく分かった」「選ぶ側の視座や評価基準が勉強になった」等、今後の作品執筆においてプラスになったという声が多くあがっています。新入生も遠慮なく、作品に応募するだけでなく、選考委員にもぜひ応募してください。

## 《選考委員応募資格》

### 大阪文学学校在校生であること、または休学中であること

在籍年数や過去の掲載回数等による制限はありません。但し、小説部門に作品に応募している場合は、小説部門の二次選考委員にはなれません（一次選考委員にはなれます）。また、詩部門・エッセイ部門に作品に応募している場合、当該部門の選考委員になることはできません。

## 《選考委員募集の詳細および注意事項》

1. 選考委員の募集は「小説」「詩」「エッセイ」の3部門に分かれます。
  - ◆小説部門については、一次選考と二次選考に分かれます。一次選考は自宅に作品が送付され、採点表を返信用封筒で送り返す形の選考です（いわゆる在宅選考）。二次選考は、8月29日(日)にオンライン会議システム（ZOOM）上で参加頂き、合議により掲載作を決定します。
  - ◆詩部門・エッセイ部門は、8月22日(日)にオンライン会議システム（ZOOM）上の合議による選考会のみです。
2. 複数部門の選考委員の掛け持ちは可能とします。但し、詩部門の選考会とエッセイ部門の選考会は同時並行で開催されるため、これらの部門を掛け持ちすることはできません。
3. 選考委員応募者が、当該部門へ作品に応募していることが判明した場合、他部門へ移っていただくか、または委員を辞退していただきます。（作品の応募は、原則有効とします。）

## 【選考委員応募先】

文校事務局内の「在特部ポスト」に別紙の応募用紙を投函してください。直接来られない場合は、郵送またはFAX(06-6768-6196)、在特部編集長eメールアドレス(jurin.zaitoku@gmail.com)でも結構です。

**【申込締切】** 2021年7月8日(木) ※作品の応募締切の前々日です。

(裏面に続く)

# 『樹林』 2021 年 11 月号(在校生作品特集号)

## 【作品応募規定】

### 《作品応募資格》

大阪文学学校在校生であること（「在校生」とは、休学生でない文校生をいいます。以下同じ。）

但し、つぎに該当する場合を除きます。

- ① 前回在特号(2021年6月号)に自分の小説作品が掲載されている場合。
- ② 前回まで2回連続で在特号に自分の詩またはエッセイ作品が掲載されている場合。
- ③ 過去在特号に小説が3回、または詩・エッセイが合わせて5回掲載されている場合。

注：休学復帰直後の在校生で、休学期間中に発行された在特号に作品が掲載されている場合、当該号を「前回」とみなして①②を適用します。

### 《作品募集部門および内容》

★ 小説部門：400字詰め原稿用紙換算100枚以内。【←厳守!!!】1人1編に限る。

★ 詩部門：400字詰め原稿用紙換算10枚以内。1人2編以内。

★ エッセイ部門：400字詰め原稿用紙換算20枚以内。1人1編に限る。

★ 表紙部門：イラストまたは写真。1人1点に限る。

[表紙部門の特例]

表紙部門に限り、上記①~③の応募制限規定は適用しません。（=在校生なら誰でも応募可。）また、他部門で作品が掲載作に選ばれた場合でも、表紙部門での同時掲載は制限しません。但し、直前の在特号の表紙に作品が採用された方は、応募をご遠慮ください。

なお、イラスト原画をソフトで描いた場合は、使用ソフトを明記してください。（採用された場合、JPEGまたはBMP形式のデータを提出していただきます。「イラストレーター」を使用の方は、装丁までお願いすることがあります。）また、表紙レイアウトデザインの関係上、原画に一部手を加えることがありますので、あらかじめご了承ください。

### 《作品応募にあたっての注意事項》※必読

1. 応募作品は未発表のオリジナル作品に限る。（組会で合評しただけの作品は**可**。自費出版作品や同人誌を含む雑誌や Web への掲載作品は**不可**。但し『樹林』の「通教部作品集」に抜粋掲載の場合は**可**）  
**二重投稿禁止！**→選考期間が重なる他の文学賞への応募作品は特にご注意ください。
2. 作品コピー（無記名のもの）を小説部門は**20部**、詩部門・エッセイ部門は**10部**、右肩綴りで作成して提出すること。（このコピーは、選考委員に手渡す原稿となります。）
3. 横長A4の用紙に縦書き印字すること。また、作品コピーには、絶対に名前・クラス名を書かないこと。（失格扱いとします。）名前・クラス名は作品に添付する**応募用紙にのみ**記入してください。

The diagram shows a vertical page layout with a dashed line on the right side. On the left side, it lists the number of copies allowed for each department: Poetry/Essay (10 copies), Novel (20 copies), and Original Manuscript Copy (unlimited). On the right side, it says 'School Name' (文校の日々) and 'Right-shoulder binding' (右肩を綴ること). A box on the right contains instructions: 'No section breaks or unreasonable reduced copies, two-sided copies are not allowed', 'No printing matching the manuscript paper grid', and 'Pay attention to avoid copy errors, misalignment, or missing corners'. Another box below it says 'Do not write your name or class name' (書かれている場合は失格とします).

4. 一枚のA4用紙に2編の作品を書かないこと（詩部門）。
5. 作品に原典がある場合は、末尾に明記すること（著作権が切れていないものは特に注意）。
6. 著作権に抵触すると思われる作品は必ず事前に著作権使用許可を取ってください。
7. 複数部門への応募も可能とするが、複数部門で掲載が決定した場合、掲載作品は作者が1部門（詩で2作が選ばれた場合はそのうち1作）のみを選ぶものとする。
8. 作品巻末には必ず原稿用紙換算での枚数表示を記入してください（厳守）。
9. 作品が掲載作に選ばれた場合、応募時点の原稿データが必要になるので、更新せず保存しておくこと。
10. 『樹林』在特号編集の段階で必要ですので、応募時点の原稿のデータ（無記名のもの）を、7月13日（火）の正午までに Word もしくは PDF 形式で以下の提出用メールアドレスまで送付ください。送ることができない場合は結構です。

なお、小説・詩・エッセイ各部門で作品が掲載された場合は、次号(2022年6月号)の選考委員を依頼させていただきます。時間の許す限りご協力の程、お願いします。

応募規定を守らないものは、規定違反として選考前に失格となる場合があります。ご注意ください。

**(昨今、規定に違反した応募が散見されます。よく「応募規定」をお読みの上、応募してください。)**

**【応募先】** 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-2-2-305

大阪文学学校 学生委員会『樹林-在校生作品特集号-』〇〇部門係  
(郵送または事務局へ直接持参してください。)

※社会情勢上、郵便事情が悪くなる可能性もございます。早めにご提出ください。

2021年7月10日（土）15時に届かない作品に関しては、失格とします。

**【締 切】** 2021年7月10日(土) 15時必着

**【掲 載】** 『樹林』2021年11月号

**【応募後の原稿データ提出先】** 提出先メールアドレス [zaitoku.data@gmail.com](mailto:zaitoku.data@gmail.com)

※応募規定にご質問がある方は、学生委員会の特部までお問い合わせください。

**【連絡先】** メール [jurin.zaitoku@gmail.com](mailto:jurin.zaitoku@gmail.com) 在特部編集長 北上 千隼